

# 日商エレクトロニクス標準BPアセット リリースノートv1.3.0

---

日商エレクトロニクス株式会社

2021/09/16

# 目次

---

- ❖ 変更の概要
- ❖ 修正・追加ファイル
- ❖ 機能追加
- ❖ 不具合修正・その他
- ❖ カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法

## 変更の概要

- ❖ オブジェクト機能追加
- ❖ オブジェクト不具合修正
- ❖ NET – 画面操作オブジェクトテンプレート の利用サンプル追加

## 修正・追加ファイル

フルパッケージをインポートせず、修正の入ったファイルのみをバージョンアップしたい場合は以下のxmlファイルを利用してください。

- ❖ BPA Object – NEEX – MS Excel.xml
- ❖ BPA Object - NEO – SQL Server.xml
- ❖ BPA Object - NEO – 文字列.xml
- ❖ BPA Object - NET –画面操作オブジェクトテンプレート.xml

# 機能追加

## ❖ 新オブジェクト「NEO – SQL Server」を追加

：標準のSQL Server操作オブジェクトよりもセキュリティを強化するために独自作成されたオブジェクトです。一部機能は実使用を考慮して標準よりも便利になっています。

## ❖ NEEX - MS Excelに Get Pivot Subtotal with Regex 追加

：Excel上では困難な、ラベル名の正規表現を用いてピボットテーブルを集計するための機能です。

## ❖ NEEX - MS Excelに Set PivotTable Filter (Text) 追加

：ピボットテーブルのフィルター条件を操作します。こちらも正規表現での指定を扱えます。

## ❖ NEO – 文字列に 正規表現エスケープ 追加

：正規表現用の特殊文字が含まれてしまっている文字列を、ただの文字列として扱えるようにします。正規表現を使った処理中にユーザーの入力データを扱うときに便利です。

## ❖ NEO – 文字列に ワイルドカードの正規表現変換 追加

：ワイルドカード（\*や?）を使って記載された文字列を、等価な正規表現として扱えるように変換します。ユーザーにワイルドカード形式で入力をしてもらう業務で便利です。

# 不具合修正・その他

## ❖ NEEEX - Get Worksheet As Preprocessed Collection の不具合修正

: 抽出対象として指定した領域が1行だけで、最初の行をヘッダに利用するオプションを有効にしているとき、ヘッダにもデータにも指定した行の値が格納される挙動を修正しました。修正後にこのような指定を行うと、ヘッダのみに行の値が設定され、行無しのコレクションが出力されます。Input/Output仕様に変更はないため、新バージョンをインポートするだけで修正版が利用可能になります。

※標準機能の“Get Worksheet As Collection”は修正前と同じ挙動をしますが、そちらには変更を加えていません。本機能は標準機能の上位互換ですので、原則こちらのみを利用することを推奨します。

## ❖ NET - 画面操作オブジェクトテンプレート の利用サンプル追加

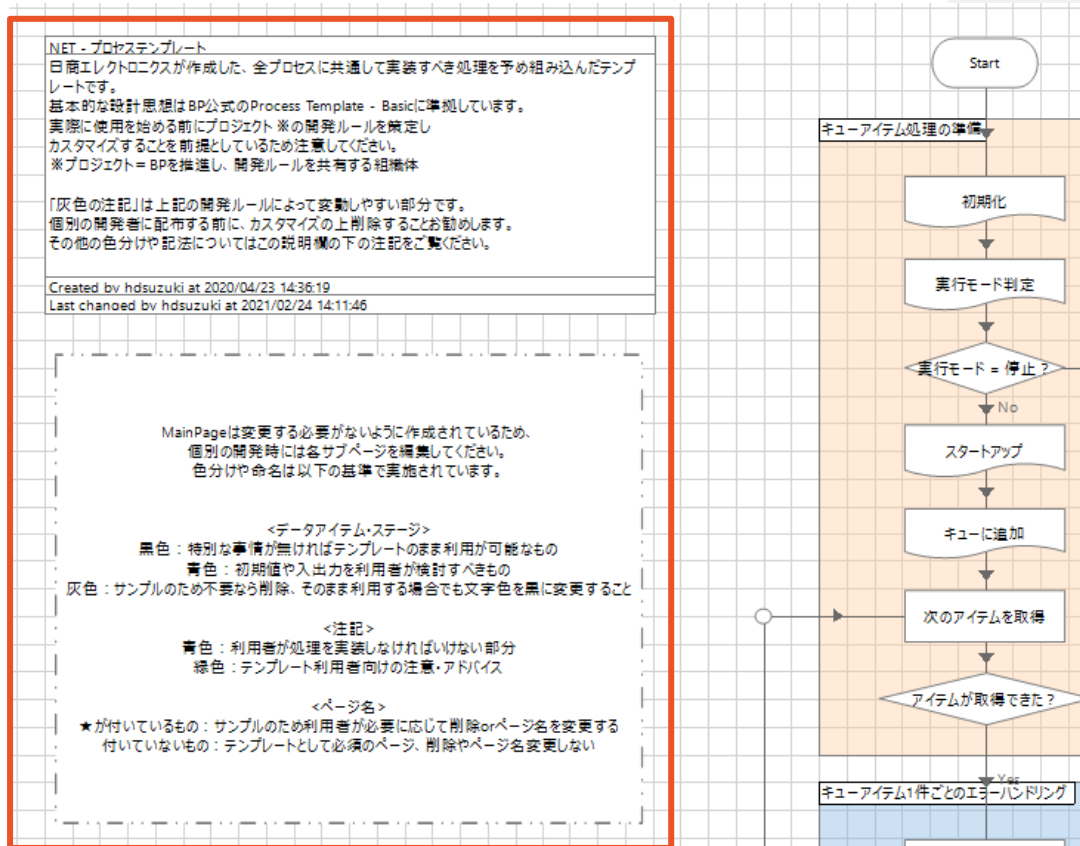
: 従来の操作ステージを使ったページのサンプルに加え、Blue Prism初学者でも分かりやすいよう書き込みや読み込みステージを使う場合のサンプルページを用意しました。  
それに伴いサンプルページ名を一部変更しています。

**V1.1.0以降からのアップデートの場合、  
V1.3.0のバージョンアップはインポートのみで完了です。**

**1.0.9以前からのアップデートの場合は、  
以降のページもご確認ください。**

# カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法(v1.1.0の修正)

既に環境に合わせたカスタムを実施済のプロセステンプレートに対し、新バージョンの修正点を適用する場合は以下の手順に従ってください。



①  
メインページを開き、  
説明欄(左上)の内容を  
新バージョンのものに更新

②  
その下の注記ステージ  
(MainPageは～)  
をコピーして貼り付け



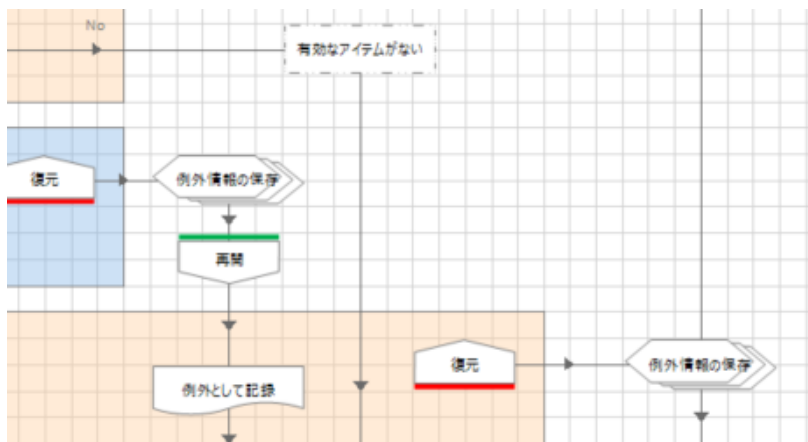
**V1.0.8以降からのアップデートの場合、  
V1.1.0のバージョンアップは以上で完了です。**

**V1.0.7以前からのアップデートの場合は、  
以降のページもご確認ください。**

# カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法(v1.0.8の修正)

既に環境に合わせたカスタムを実施済のプロセステンプレートに対し、新バージョンの修正点を適用する場合は以下の手順に従ってください。

- ①「メインページ」の「例外情報の保存」ステージ(※2つあります)をそれぞれ開き、3行目に右図のようにExceptionStage()を[例外情報.ステージ]に代入する式を設定する



複数の計算のプロパティ

Name:

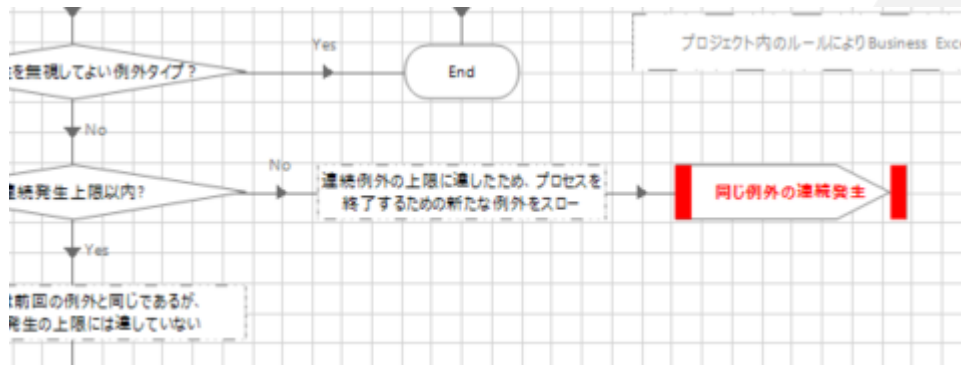
Description:

Expression	Store In
ExceptionType()	例外情報 タイプ
ExceptionDetail()	例外情報 詳細
ExceptionStage()	<input checked="" type="checkbox"/> 例外情報 ステージ

# カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法(v1.0.8の修正)

- ②「例外として記録」ページの「同じ例外の連続発生」例外ステージを開き、エラーメッセージを以下のように修正する

**[例外の連続発生上限] + 1 & "アイテム連続で " & [例外情報.タイプ] & "が発生したため、プロセスを終了しました。詳細: " & [例外情報.詳細]**



数式

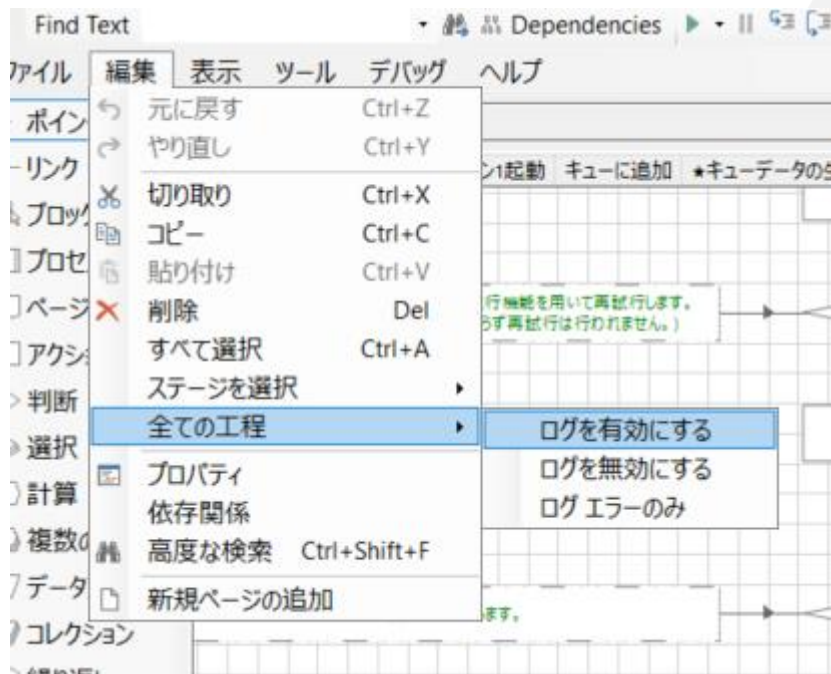
**[例外の連続発生上限] + 1 & "アイテム連続で " & [例外情報.タイプ] & "が発生したため、プロセスを終了しました。詳細: " & [例外情報.詳細]**

※連続で「前と同じ例外が起こったとき」発生する例外のため、上限回数+1アイテムがエラーとして記録されるのが想定される挙動です。

# カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法(v1.0.8の修正)

③左上メニューから「編集」>「全ての工程」>「ログを有効にする」を選択する

※プロジェクトのルールにより、プロセスでもログ出力するステージを限定している場合はそのルールに則って修正する形でも問題ありません。



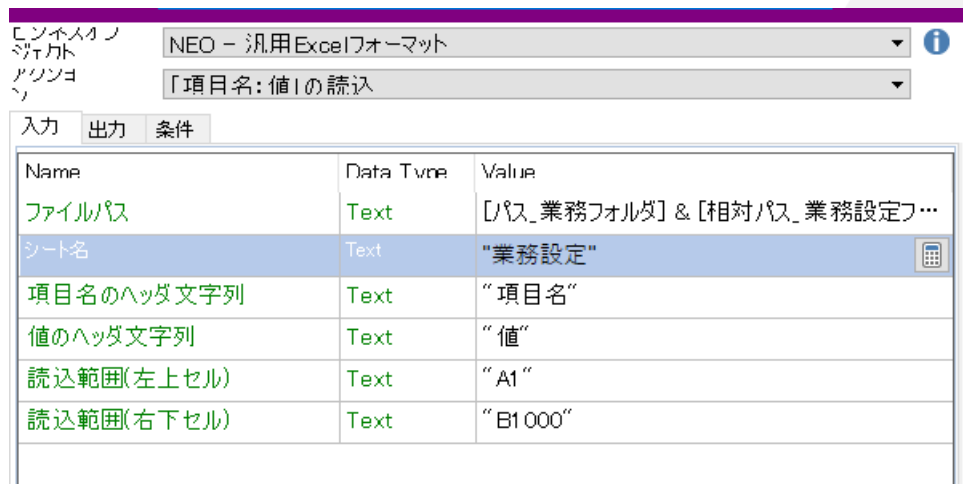
**V1.0.7からのアップデートの場合、  
ここまででバージョンアップ対応は完了です。**

**V1.0.7を飛ばしてアップデートした場合、  
以降のページもご確認ください。**

# カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法（v1.07の修正）

既に環境に合わせたカスタムを実施済のプロセステンプレートに対し、新バージョンの修正点を適用する場合は以下の手順に従ってください。

- ・「初期化」ページの「業務設定の読込」ステージを開き、「シート名」の入力値を「業務設定」に変更する



Name	Data Type	Value
ファイルパス	Text	[パス_業務フォルダ] & [相対パス_業務設定フ…
シート名	Text	"業務設定"
項目名のヘッダ文字列	Text	"項目名"
値のヘッダ文字列	Text	"値"
読込範囲(左上セル)	Text	"A1"
読込範囲(右下セル)	Text	"B1:000"

※設定ファイルの読込周りはプロジェクトごとにカスタムされることが多い部分ですので、既にこの部分がカスタムされていた場合には特に対応を行う必要はありません。